

【3】教員について

3. 幼児保育学科 9名（教授4名、准教授2名、専任講師3名）

2018年5月1日現在の本学専任教員を50音順に記します。記述の項目は次のとおりです。

①専門分野、②主な担当科目、③取得学位・免許・資格、④主な業績（著書、論文、発表、展示、作品、講演会など）

岩野 勝人（教授）

①現代美術 彫刻 造形あそび ワークショップ アートコミュニケーション

②造形A・B、保育内容演習（造形表現A・B）、保育・教育指導法（造形表現）

③修士（芸術学）〔京都市立芸術大学〕

④主な業績

《著書》

- ・展覧会図録「めぐりアート静岡『まち/ひと/とき、/むすぶ』」共著（国立大学法人静岡大学発行2018年2月）
- ・展覧会図録「めぐりアート静岡『記憶をめぐる 記憶をつくる』」共著（国立大学法人静岡大学発行2017年2月）
- ・展覧会図録「めぐりアート静岡『ちょっと、ざわざわ、しにいく』」共著（国立大学法人静岡大学発行2016年3月）
- ・『Erosion/Transfiguration—侵食と変容の先の関係性へ—』共著（公益財団法人西枝財団発行2015年10月）

《作品》

- ・めぐりアート静岡「コンテナ・アートベース」「キリン・キリン」東静岡アート&スポーツ/ヒロバ（2017年10月）※2016年より継続展開
- ・『岩野勝人・MENTAL CHAIR』静岡市美術館（2016年1月—3月）
- ・『MENTAL CHAIR・HUGE FOOT』京都・瑞雲庵（2015年4月—5月）
- ・『HUGE FOOT』尼崎アートフェスティバル2014（2014年7月）

《論文》

- ・幼児対象の造形あそびの組立について —美術ワークショップの考案及び試行『池坊短期大学紀要』38 幼児保育学科完成年度記念（2017年12月）
- ・「使われてなんぼ」の空間創作 —子どもたちと作る公園イメージの構築—『池坊短期大学紀要』38 幼児保育学科完成年度記念（2017年12月）
- ・リズムジャンプ・サーキットによる運動遊び実践—幼児の健康・体力づくりに関する始動方法の研究—『池坊短期大学紀要』38 幼児保育学科完成年度記念（2017年12月）
- ・『美術の現場』としてのワークショップ考『池坊短期大学紀要』37B（2017年3月）
- ・「美術の現場としてのワークショップ考 その1」『京都市立芸術大学 美術教育研究会「美」』第188号（2012年12月）
- ・「ワークショップ活動を通しての美術の可能性」『大阪成蹊大学芸術学部紀要』No. 7（2011年3月）

《その他、社会活動等》

- ・第3回 徳島県中学校総合文化祭中央大会における全国中学校文化連盟加盟記念モニュメントの制作指導のためワークショップの実施(徳島県中学校文化連盟主催 2016年11月)
- ・大原美術館「チルドレンズ・アート・ミュージアム」でのワークショップの実施(社団法人 大原美術館主催 2017年8月) ※2005年より毎夏実施
- ・平成29年度京都府文化を未来に伝える次世代育み事業「学校・アート・出会いプロジェクト」でのワークショップの実施(京都府文化スポーツ部文化芸術振興課主幹) ※2014年度より毎年実施
- ・京都・文化ベンチャーコンペティション起2016及び第5回 女性起業家賞一次審査通過者に向けてのブラッシュアップセミナー講演(京都府文化スポーツ部主幹2016年11月)
- ・京都府総合教育センター研修講座 平成28年度幼稚園・小学校「みて、感じる造形あそび」における講演と実技指導(京都府総合教育センター主催2016年5月)
- ・「第38回 美術科教育学会大阪大会」におけるワークショップ(第38回美術科教育学会大阪大会2016年3月)
- ・「平成27年度京都府小学校『題材構想から考える授業作り』講座 図画工作科講習会」における講演とワークショップ(京都北部総合教育センター主催2015年5月)
- ・「みんなで創るユニバーサルミュージアム事業」におけるワークショップ(平成26年度文化庁地域と協働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業2014年12月、2015年2月)

鵜川 陽子(講師)

①子育て支援

②保育原理、保育の心理学A・B、保育相談支援、保育実習指導I・II、保育実習I・II

③修士(教育学)[龍谷大学]

保育士資格 幼稚園教諭二種免許 中学校教諭一種免許(国語) 高等学校教諭一種免許(国語) 高等学校教諭専修免許(公民)

④主な業績

《著書》

- ・『豊かな保育をめざす 保育課程・保育計画』共著(株)みらい2003年)
- ・『土割の刻 ～田中昌人の研究を引き継ぐ～』共著(クリエイツかもがわ2006年)

《論文》

- ・「地域子育て支援活動に関する研究」『修士論文 龍谷大学大学院』(2001年3月)
- ・「親の子育て意識と子育て支援のあり方を考える—岐阜市における調査を中心に—」『大阪千代田短期大学紀要』(2006年12月)
- ・「保育実習指導の在り方に関する一考察」『豊岡短期大学紀要』第14号(2017年12月)

《発表》

- ・「知的障害者の社会における受け入れに関する研究」日本応用心理学会第67回大会(2000年9月)
- ・「子育てサークルの事例研究—保育所と保健センターでのかかわり—」日本こども社会学会(2001年6月)
- ・「地域子育て支援活動の事例研究—滋賀県大津市K保育園での取り組み—」日本応用心理学会第68回大会(2001年9月)

- ・「大津市地域子育て支援センター事業の実践（その1）～複数の支援センター共同活動の取り組み～」
- ・「大津市地域子育て支援センター事業の実践（その2）～複数の支援センター共同活動の取り組み～」滋賀県社会福祉学会（2002年2月）
- ・「親の子育て不安と子育て支援」岐阜保育研究会第1回大会（2000年10月）
- ・滋賀県大津市地域子育て支援センターの実践 —「大津地域子育てネットワーク通信『ホッとタイムズ』の取り組み—」岐阜保育研究会第2回大会（2001年10月）

《その他、社会活動等》

- ・NPO法人こころの子育てインターねっと関西 会報誌 連載担当（2009年6月～2010年4月）

佐々木 由喜子（教授）

①音楽教育 リトミック

②音楽A・B、保育内容演習（音楽表現A・B）、保育・教育指導法（音楽表現）

③博士（教育学）[明星大学]

④主な業績

《著書》

- ・『どれどれだれでもわかる音楽のしくみ』共著（自費出版・2017年）
- ・『新たなしいこどものうたあそび第二版』共著（同文書院・2017年）
- ・『実践 保育内容シリーズ 音楽表現』共著（一藝社・2014年）

《論文》

- ・「リトミックにおけるプラスチック・アニメに関する研究—古典バレエの比較研究を通して—」『明星大学通信制大学院修士論文』
- ・「ラバンの舞踊の原理とリトミックに関する研究—ラバノーテーションの基本的な考え方とリトミックのリズム運動—」日本ダルクローズ音楽教育学会『ダルクローズ音楽教育研究』第38号 査読付き（2014年3月）
- ・「リトミックにおけるプラスチック・アニメに関する研究—音楽と身体の動きの関係に見る古典バレエとの比較を中心に—」日本ダルクローズ音楽教育学会40周年記念論集『リトミック教育研究』査読付き（2015年3月）
- ・「イサドラ・ダンカンとエミール・ジャック・ダルクローズの教育思想に関する研究—音楽と動きの概念を中心に—」日本ダルクローズ音楽教育学会『ダルクローズ音楽教育研究』第39号 査読付き（2015年3月）
- ・「リトミックにおける身体表現法に関する研究—20世紀前後の身体表現教育との比較を中心に—」『明星大学通信制大学院博士論文』（2015年）
- ・「リトミック音楽教育におけるプラスチック・アニメに関する研究—概念の成立の過程と変容を中心に—」日本ダルクローズ音楽教育学会『ダルクローズ音楽教育研究』第40号 査読付き（2016年3月）
- ・「幼児の音楽的表現におけるリトミックの効果と課題に関する一考察—領域「表現」の内容に着目して—」『池坊短期大学紀要』28（2017年12月）
- ・アッピアの演出理念とリトミックの理念の共通性に関する研究—アッピア『音楽とミザン

セーヌ』(1898)の分析を通してー日本ダルクローズ音楽教育学会『ダルクローズ音楽教育研究』第42号 査読付き(2018年3月)

《発表》

- ・「ラバンの舞踊の原理とリトミックに関する研究ーラバノーテーションの基本的な考え方とリトミックのリズム運動ー」日本ダルクローズ音楽教育学会研究大会(2013年11月)
- ・「イサドラ・ダンカンとエミール・ジャック＝ダルクローズの教育思想に関する研究ー音楽と動きの概念を中心にー」日本ダルクローズ音楽教育学会 第14回研究大会(2014年)
- ・「リトミックに見られるデルサルト身体表現理論の影響に関するー考察」日本ダルクローズ音楽教育学会研究例会(2015年)
- ・「アドルフ・アッピアの演出理念にみられるJ＝ダルクローズの影響に関する研究ーアッピアの言述を手掛かりにー」日本ダルクローズ音楽教育学会研究大会(2017年11月)

《その他、社会活動等》

- ・池坊保育園職員研修リトミック講座(2017年12月)

篠原 いくよ(教授)

①実践学校教育 幼児教育方法 授業法

②教育方法論、保育課程論、保育内容総論、保育者論、教育実習指導、教育実習、保育・教職実践演習、キャリア・プランニング

③修士(教育学) [大阪教育大学]

幼稚園教諭一種免許、幼稚園教諭専修免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格

④主な業績

《著書》

- ・『教育・保育方法ー実践のための理論と実際ー』編著者(大学図書出版・2018年)
- ・『大阪市立幼稚園参考教育課程ー世界を拓くなにわっこー』企画作成(大阪市立幼稚園教育研究会・2007年)

《論文》

- ・「保育力を培う演習について(9)ー保育における安全・事故防止ー」『池坊短期大学紀要』38号(2017年11月)
- ・「保育力を培う演習について(7)ーお茶ー」『関西教育学会年報』第41号(2017年8月)
- ・「保護者支援力を培う演習についてー連絡帳ー」『日本乳幼児教育学会』第26回大会研究発表論文集(2016年11月)
- ・「保育力を培う演習について(5)ー運動会ー」『関西教育学会年報』第40号(2016年8月)
- ・「保育力を培う演習について(4)ー伝承遊びー」『大阪成蹊短期大学研究紀要』第53号(2016年3月)
- ・「保育力を培う演習について(3)ー模擬保育Ⅱー」『関西教育学会年報』第39号(2015年8月)
- ・「保育力を培う演習について(2)ー七夕レポートー」『大阪成蹊短期大学研究紀要』第52号(2015年3月)

- ・「特色ある幼稚園教育について－授業実践より－」『関西教育学会年報』第38号（2014年8月）
- ・「特色ある保育についての－考察－フレーベルハウス」『大阪成蹊短期大学研究紀要』第51号（2014年3月）

《発表》

- ・「保育力を培う演習について（8）－地域の伝統文化を取り入れた保育－」関西教育学会第69回大会大阪市立大学（2017年11月）
- ・「保育力を培う演習について（6）－目指す保育とその具体策－」日本保育学会第71回大会川崎医療福祉大学（2017年5月）
- ・「保育力を培う演習について－伝承遊びの授業実践－試案－」日本保育学会第68回大会椋山女学園大学（2015年5月）
- ・「保育力を培う演習について－行事レポート－」日本保育学会第67回大会大阪総合保育大学（2014年5月）
- ・「学生の就職意識変容についての－考察」日本教師教育学会第23回大会（2013年9月）共同
- ・「保育力を培う演習について－教材作成－」日本保育学会第66回大会中村学園大学（2013年5月）

《その他、社会活動等》

- ・大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園学校関係者評価 評価委員（2014・2015年度）
- ・大阪府私立幼稚園連盟東淀川支部教員研修会講師（2013年12月）
- ・大阪市教育委員会初任者研修指導員（2011～2013年度）
- ・大阪市西区要保護児童対策協議会代表委員（2010年度）

本谷 宇一（准教授）

①国語科教育学

②リーディング&ライティングスキル、国語、保育内容演習(言葉と文化A・B)、言葉

③修士(教育学) [埼玉大学]

小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状(社会) 司書教諭

④主な業績

《著書》

- ・小学校国語教科書『わたしたちの小学国語』1～6年編著（日本書籍2004年1月）
- ・『フレネ教育「表現する教室」』共著（青木書店2000年2月）
- ・『総合学習で楽しい国語教育』共著（一光社2000年3月）
- ・『言葉を育む教室』編著（つなん出版2005年8月）
- ・『子どもが「発問」する学びの教室－学習材でかわる国語の授業－』単著（一光社2011年4月）
- ・『子どもが育つ学びのすじみち』編著（フレネ教育研究会編2016年8月）

《論文》

- ・「問うことで育つ」『埼玉大学教育学部附属教育実践センター紀要』（2011年3月）
- ・「谷川俊太郎の詩とことばの学び」『国語の授業』一光社刊（2011年10月）

《研究報告》

- ・京都聖母学院短期大学 学術発表 テーマ「絵本を通じた子どもの育ち」(2016年1月)

《発表》

- ・フレネ教育関西ブロック研究集会 テーマ「オノマトペを元にした絵本と子どもの言葉」
於) 京都大学 (2016年2月)
- ・文学作品の作品・教材研究について 対象 福井大学教職大学院 院生・教員 於) 福井
市立中藤小学校 (2017年6月)

《その他、社会活動等》

- ・児童言語研究会 埼玉集会講師 (2011年11月)
- ・和光学園鶴川小学校 公開研究会 講師 (2013年1月)
- ・埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター研究員 (2016年まで)
- ・京都聖母学院幼稚園 父母会 学習会 講師 (2016年6月)
- ・京都聖母学院小学校 校内研究会 講師 (2017年2月)

矢野 永吏子 (講師)

- ①幼児体育 身体教育 身体表現 体育心理学 子育て支援
- ②体育実技、幼児体育A・B、保育内容演習(健康の指導法A・B)、保育内容演習(身体表現A・B)
- ③修士(文学) [奈良女子大学]
- ④主な業績

《著書》

- ・『子ども家庭福祉』共著(青山社・2017年)

《論文》

- ・「大谷大学幼児教育保育科での地域連携型子育て支援における子育て支援と学生の学び」
『大谷大学短期大学部幼児教育保育科研究年報』第19号(2018年3月)
- ・「身体表現・リズムダンスの発達から考える幼児期の運動 ～初等体育との接続のために～」
『教育思想・教授法年報』第2号(2018年3月)
- ・「運動遊びにみられる幼児の発達 ―戸外での遊びと仲間関係をもとに―」
『大谷大学教職支援センター紀要』第6号(2018年3月)
- ・「幼児体育と就園前の子ども達の育ちの接続」
『大谷大学短期大学部幼児教育保育科研究年報』第18号(2017年3月)
- ・「子どもの健康な生活の実現に向けて」
『大谷大学短期大学部幼児教育保育科研究年報』第18号(2017年3月)
- ・「体育系学部大学生のスポーツ指導実習におけるダンス指導に対する学び：幼少期からのダンスの好き嫌いに関連して」
『大谷大学短期大学部幼児教育保育科研究紀要』第17号(2016年3月)
- ・「保育者養成課程の体育における学生の授業満足度と幼児の身体教育に対する意識の関連」
『大谷大学短期大学部幼児教育保育科研究紀要』第16号(2015年3月)

《発表》

- ・「地域連携型子育て支援における学生の学び②」日本保育学会第71回大会(2018年5月)

- ・「幼児の運動遊びとダンス表現の取り組み」日本幼児体育学会第13回大会（2017年8月）
- ・「地域連携型子育て支援における学生の学び」日本保育学会70回大会（2017年5月）
- ・「健康スポーツ系学部大学生のダンスの好嫌とダンス指導に対する学習」日本体育学会第27回大会（2016年8月）

《その他、社会活動等》

- ・＜地域連携プロジェクト＞大谷大学ランドデザイン事業自己点検評価・地域貢献事業（子育て支援）「赤ちゃんのいないいないばあ教室」「赤ちゃんにこちゃんサロン」「赤ちゃんすくすく広場」（2015年4月～2018年3月）
- ・「保育内容健康」における地域貢献事業連動ワークショップ「子どもの育ちの今昔と伝承遊び」（2017年1月、2018年12月）
- ・京都市児童館連盟職員研修会講師（2017年6月）

山田 理恵子（教授）

①教育心理学 教育相談

②教育心理学、子ども理解と教育相談、保育内容演習（人間関係）

③修士（幼児教育）〔大阪教育大学〕

小学校教諭一種免許、学校心理士、ガイダンスカウンセラー

④主な業績

《著書》

- ・『子どもの発達と人間関係』単著（清風堂書店・2018年）
- ・『子どもと言語表現』単著（近畿大学豊岡短期大学通信教育部・2012年）
- ・『保育の心理学I』共著（一藝社・2012年）
- ・『子どもの発達と教育』単著（山中総合事務所出版部・2010年）
- ・『子どもの心の育ちと人間関係』共著（保育出版社・2009年）
- ・『乳幼児のための心理学』共著（保育出版社・2009年）

《論文》

- ・「人間関係に問題を抱える子どもたちー保育者としての理解教育ー」『芦屋学園短期大学研究紀要』第44号（2018年3月）
- ・「心理学系科目の授業研究ージェンダーフリーと心理療法ー」『芦屋学園短期大学研究紀要』第43号（2017年3月）
- ・「世代間交流による患児への遊び・学びプログラムの実践報告ー卒業ゼミ生によるボランティア活動への間接的寄与ー」『芦屋学園短期大学研究紀要』第42号（2016年3月）
- ・「世代間交流による患児への遊び・学びプログラムの実践報告ー支援ボランティアと医療関係者との連携ー」『日本世代間交流学会誌』Vol. 3 No. 1 査読付き（2013年5月）
- ・「民話を使った保育研究」『芦屋大学論叢』第55号（2011年6月）

《発表》

- ・「世代間交流による患児への遊び・学びプログラムの実践的研究ー学びプログラムの作成と課題ー」日本教育心理学会第57回全国大会（2015年8月）
- ・「患児への遊び・学びプログラムの実践的研究ー箱庭療法の導入に向けてー」日本人間関係学会（2014年9月）

- ・“Study on Volunteer Programs for Children in Hospital”Hawaii International Conference on Education 11th Annual Conference (2013年1月)

《その他、社会活動等》

- ・全国保育士養成協議会全国大会実行委員 (2018年)
- ・財団法人短期大学基準協会 評価員 (2012・2014年度)
- ・芦屋市民センター「第2回患児のための遊び・学び支援ボランティア養成講座」講師 (2013年3月)
- ・大阪府立茨田高校コミュニケーションプロジェクト委員会「コミュニケーション総合講座」講師 (2012年10月～2013年9月)
- ・2011年度大学コンソーシアムひょうご神戸・兵庫県少子対策協力協会「町の寺子屋師範塾」講師 (芦屋大学・2011年10月)
- ・芦屋市主催夏季研修講座講演「特別支援教育ー幼稚園や保育所における発達障害児の問題と指導ー」(2010年8月)
- ・全国保育士養成協議会全国大会実行委員 (2010～2012年)、研究大会座長(2012年9月)

吉島 紀江 (准教授)

- ①社会福祉学 社会福祉教育・実習 ソーシャルワーク
- ②社会福祉、相談援助、社会的養護内容、障害児保育、保育実習
- ③修士 (社会福祉学)
社会福祉士 保育士 介護福祉士

④主な業績

《著書》

- ・『福祉実践をサポートする介護概論』共著 (保育出版 2011年)
- ・『社会福祉の制度と課題』共著 (学文社 2015年)
- ・『考え、実践する施設実習』共著 (保育出版 (2015年)
- ・『児童文化』共著 (あいり出版 2015年)
- ・『障がい児保育の基本と課題』共著 (学文社 2016年)
- ・『子どもと家族をアシストする相談援助』共著 (保育出版 2017年)

《論文》

- ・幼稚園における、前向き子育てプログラム (トリプルP) の効果検証ー所属集団のスタッフによる評価を含めてー」共著『日本聖公会保育』第18号日本聖公会保育連盟 p64～79 (2012年)
- ・「効果的な子育て支援のあり方:父親グループへのペアトレーニングプログラム適用の試み」共著 公益財団法人明治安田こころの健康財団 (通巻48号 2012年度) 121～130
- ・「保育士養成課程における実習指導上の留意点ー不安要因とストレスとの関連」共著『平安女学院大学研究年報』第13号 (2012年)
- ・「保育実習指導における教授内容の検討ー学生の自己評価よりー」共著『保育研究』第42号 (2014年3月) 49～53
- ・「保育実習における学生の学び2ー保育実習Ⅲのエピソード記述よりー」単著『保育研究』第44号 (2016年3月) 17～22

- ・「医療的ケアに関する教育プログラムの見直し（中間報告）－近畿圏の介護老人福祉施設における医療的ケアに関するアンケート調査－」共著『地域ケアリング』2016年10月号
- ・「医療的ケアに関連する教育における課題SCAT手法を用いた1事例の分析より－」共著『華頂大学・華頂短期大学教育開発センター研究報告』第4号 平成28年
- ・「保育実習における「障害児保育」の学びの深まり－学生による保育実習後のエピソード記述より－」単著『保育研究』第46号（2017年3月）15～21
- ・「保育者養成課程におけるフィールドワークの教育的効果」共著『保育研究』第48号（2018年2月）27～33
- ・「保護者対応における専門職のあり方の検討－保育所職員研修会より－」単著『保育研究』第48号（2018年2月）34～39

《研究報告》

- ・『近畿圏の介護老人福祉施設における医療的ケアに関するアンケート調査報告書』共著 平成26年度から28年度科学研究費助成事業
- ・『「医療的ケア」とそれに関連する教育の見直しに関する研究報告書』共著 平成26年度から28年度科学研究費助成事業

《発表》

- ・「「相談援助」と「保育相談支援」における科目間連携について」共同 日本保育学会第68回大会 ポスター発表
- ・「保育実習における効果的な学び－三者協働の具体的方法を探る－」共同 日本保育学会第68回大会 ポスター発表
- ・「実習体験から得た学生の子ども観－保育実習Ⅱ事後指導の自由記述より－」共同 全国保育養成校協会第53回研究大会
- ・「保育士養成課程における卒後教育課題の検討」共同 日本保育学会第67回大会 口頭発表

吉田 直子（講師）

- ①音楽教育、ピアノ、音楽基礎能力養成
- ②音楽A・B、保育内容演習（音楽表現A・B）、保育・教育指導法（音楽表現）
- ③修士（音楽教育）[京都教育大学]
- ④主な業績

《著書》

- ・『MINERVA はじめて学ぶ教科教育』シリーズ第7巻『初等音楽科教育』共著（MINERVA出版2018年）

《論文》

- ・「楽譜を見てすぐ歌う力『視唱力』についての意識」『京都教育大学実践研究紀要』第10号（京都教育大学実践研究指導センター）査読付き（2010年）
- ・「読譜指導に求められる視点」『関西楽理研究』（関西楽理研究会編）第27号査読付き（2010）
- ・「読譜力と音楽的基礎能力との関連性について－音高イメージを持って楽譜を読むことができるようになるために－」『京都教育大学実践研究紀要』第11号（京都教育大学実践研究指導センター）査読付き（2011年）

- ・「楽譜を見てすぐ歌える力「視唱力」育成の視点」『京都教育大学実践研究紀要』第12号（京都教育大学実践研究指導センター）査読付き（2012年）
- ・「教員養成課程の学生が抱える問題の原因についての考察」『関西楽理研究』（関西楽理研究会編）第29号 査読付き（2012年）
- ・「階名唱指導における課題」『京都教育大学教育実践紀要』第13号（京都教育大学実践研究指導センター）査読付き（2013年）
- ・「音楽的要素を感受させる指導の考察－ソルフェージュ指導書『音の世界』から〔共通事項〕の指導法を探る－」『関西楽理研究』第30号（関西楽理研究会編）査読付き（2013年）
- ・「階名唱指導上の課題2－幼児教育専攻学生の視唱の現状から－」『京都教育大学教育実践紀要』第15号 査読付き（2015年）
- ・「保育者養成課程における初心者のリズム読譜指導－「拍」と「フレーズ」を視点に－」『関西楽理研究』第33号（関西楽理研究会編）査読付き（2016年）
- ・「保育者養成校のピアノ学習プロセスにおける支援－マルカム・ノールズの『アンドラゴジー論』の検討を通して－」『奈良佐保短期大学研究紀要』第24号 査読付き（2017年）
- ・「〈音楽家の耳〉トレーニングを活用した幼児期の音楽基礎教育「聴く活動」に関する研究－保育者養成校の学生との実践から－」共著 エリザベト音楽大学『研究紀要』第38号 査読付き（2018年）
- ・「幼児の音楽表現と“遊び歌”」『奈良佐保短期大学研究紀要』特別号 査読付き（2018年）

《研究報告》

- ・「幼児教育者養成課程における読譜力養成－「モデル・パターン」を用いた実践から－」『学校音楽教育研究』Vol. 20（2016年）
- ・「異なる聴き方に導くこと－『拍』と『フレーズ』に着目して」『音楽表現学』Vol. 15（2017年）

《発表》

- ・「幼児教育専攻学生のための視唱指導－聴くこと、イメージすることを重視して」日本音楽教育学会第42回大会（2009年）
- ・「幼児教育者養成における読譜力養成－モデル・パターンを使った実践から－」日本学校音楽教育実践学会第20回大会（2015年）
- ・「異なる聴き方に導くこと－『拍』と『フレーズ』に着目して」日本音楽表現学会第15回大会（2017年）

《その他、社会活動等》

- ・クラシック音楽コンクール奈良本選審査員（2014年）
- ・クラシック音楽コンクール奈良本選審査員（2015年）
- ・クリスマスコンサート 聖公会奈良基督教会（2016年）
- ・ピアノコンサート ゲスト出演 星誕音楽堂（2017年）
- ・教員免許状更新講習講師（幼稚園教諭対象）（2017年）